

(仮称) 宮前区「希望のシナリオ」実現プロジェクト

宮前区らしいしくみ「ラウンドテーブル」をお試し実施しよう！

ミーティング3：宮前区らしいソーシャルデザインセンターを考えよう

令和4（2022）年3月13日（日）13：30～16：30

第1部：プロジェクトオーナーのご感想

注釈

* [] 内は動画や画面上での操作に関する補足です。実際に発言している内容ではありません。

* SDC：ソーシャルデザインセンターの略

00:00:00 [音楽] タイトル画面

00:00:06

(株) 石塚計画デザイン事務所 千葉：

- ・それではプロジェクトのオーナーになっていただいた三組の方に一言ずつご感想いただきたいなと思います。

00:00:15

テーブル1：公園×マルシェで「拡大まちかどシェア」

辻 麻里子さん（宮前まち倶楽部）

- ・ラウンドテーブルをさせていただきまして本当にイベントのちょっと直前に、もう一か月前ぐらいに、みんなで集まったにもかかわらずメンバーの方々本当に協力していただいて、献身的に支えてくださって、当日思ったよりもたくさんの方が来てくださって、アンケートも100名を超える方にできたのも、本当皆さんがきっと走り回ってくださったおかげだと思うんですけども。
- ・その打ち上げもできぬままになっているのが非常に心苦しいのですが、またコロナが明けたらぜひみんなで集まって、また次のどこかの公園を一緒にどこかの町内会と一緒にやりたいねっていうようなそんな話ができたらいいなと思っています。
- ・是非引き続きよろしくお願いします。
- ・いろいろなノウハウブックの方もできましたので、当日のノウハウはほとんど完璧だと思うんですけども、そこに至る資源発掘とか皆さんとどう繋がってあぁいったこと [町会等との連携による公園を活用した地域活動の見える化] ができるかというような、もう少し長期的な面での協力も皆さんとさせていただければいいなと思っています。
- ・それから宮前公園活用ガイドラインが策定されたっていうのは本当にもうびっくりというか、本当に嬉しいことだと思います。

- ・宮前区はすごくたくさん公園があるので、そこが地域の宝になっていくようなそういう活用のされ方ができる可能性がすごく広がったのかなと思うと本当に嬉しく思っています。
- ・いろいろと本当にありがとうございました。

00:01:50

千葉：

- ・ありがとうございました
- ・そうですね、今あるイベントだけではなくて、ほかの公園でも横に展開して行くと、いろいろな公園の活用のたくさん事例につながっていく。
- ・そういう一歩に今回の「活動」がなったらすごくいいですね。

00:02:06

テーブル1：公園×マルシェで「拡大まちかどシェア」

浅野 真紀さん（宮前まち倶楽部）

- ・辻さんとほぼ同じ感想ではあるんですけども、もう一か月前に迫っている段階でラウンドテーブルをしていただいたにも関わらず、これだけの人が集まってくださったのも、やっぱり「宮前」まち倶楽部だけですとそういったところが難しいところもあって、区役所の方ですとか、横の連携があって今回そういった方達に出会うことができたんじゃないかなって、すごく感謝しています。
- ・あと、そうですね、これがすごく大盛況でよかったんですけど、やっぱりそれを継続していくってすごく体力がいることで。
- ・今回そういうサポートがあったからバツと瞬発力が出たんですけども、みんなが楽しみながら社会課題を解決できるようなそういう仕組みができればいいなって思っています。
- ・以上です

00:03:05

千葉：

- ・浅野さん、ありがとうございます。
- ・確かに、瞬発力は出てきたんだけど、どうやって継続的にこういう取組を続けていくか。
- ・それもどういった支えが必要かって話も今後の課題になってくるのかなと思います。

00:03:18

テーブル2：シニアが気軽に立ち寄れる場（宮前区版道の駅？）をつくってみよう！

西村 ルミさん

- ・ラウンドテーブル2の集まりに皆さん来ていただいてありがとうございました。
- ・テーブル2は、1と3と比べたらイベントが決まっていなくて、本当に「こういうのがあったらいいなあ」というところからの、0からのスタートだったんですね。
- ・0からのスタートのものを2ヶ月、3ヶ月で形にするっていうのが難しいのは分かっていたので、今回はこういうふうに「0からのネタを持ち込まれたらどうなるんだろう？」っていう検証になったのかな

っていうふうに思っています。

- ・できればイベントができればイベントとか何か形になったらそれはそれで素敵なことなんですけれども、多分今後 SDC（ソーシャルデザインセンター）ができて、何か地域の方から持ち込まれると、ほとんどがこういうケースかなっていうふうに思うんですね。
- ・なにか「こういうことがしたいと思うんだけど」とか、「こういうことを問題だと思ってるんだけど、なんかそういう [こと] の相談にのってくれるところってあるのかな」というような持ち込まれ方が多いかなと思うので、今回テーブル 2 に関しては、この 3 ヶ月、4 ヶ月で形にはならなかったけれども、多分一番リアリティの高いケースだったのかなというふうに感じています。
- ・来年度以降も、どういう形に SDC になるかわからないんですけども、何か、私の場合だったら子育てと、あとは仕事以外の何か地域で、居場所っていうんですかね、こういう事を皆さんと一緒にやりながら、自分がこの地域で生活していくっていうことを大事にしながら、こういうなんか楽しいことに関われたらなあっていうふうにこれからも思います。
- ・ありがとうございました。

00:05:17

千葉：

- ・西村さん、ありがとうございます
- ・やっぱりすでに活動しているとか、レベルの高いっていうか、実績のあるものの相談ばかりではなくて、本当に地域で困っているそれをなんとか形にして行きたいっていうものが投げ込まれてきたときに、ラウンドテーブルがどうやって解決するかという話の本当にサンプルになったと思うんですね。
- ・これは本当にこの期間では実現するのは難しいぐらい短期間だったんですけど、時間をかけていくとそういうチャンスが出てくるとか、どうやってじゃお試して実際やっていくのかとか、そういうことに繋がっていくのかなと思いました、ありがとうございました。

00:05:53

テーブル 3：民間が保有する地域の間と地域活動をマッチングしよう！

森山 隆幸さん（宮前区役所地域振興課）

- ・テーブル 3 は、初めて企業と一緒にコラボしてやったという形でやらせてもらったところではあるんですけども、これから他の企業から相談が来た時のいい前例にもなったかなと思います。
- ・テーブル 3 の集大成は来週の三連休という形になりますので、まずはそれを乗り越えて見てというところになるかなと思います。
- ・チラシを見てもらえればわかるとおり、全部の日程で 8 店舗ぐらゐが出てこれるということで、とりあえず間に入ってやった一回目と遜色ない形で店舗が集まってくれたというのはいい感じで繋がったのかなと思っているというところです。
- ・皆さんも来週ちょっと見に来ていただいて、どんなイベントに出来上がったのかなって見てもらうところから始めて、次回 3 回目、4 回目につながっていくといいのかなと思います。
- ・多分私も来週いると思いますので、皆さんも顔を出してもらえればと思います、よろしくお願いします。
- ・ありがとうございます、以上です。

00:06:49

千葉：

- ・ありがとうございます
- ・そうですね、百聞は一見にしかずというか、実際に行ってみると「こういうことができるんじゃないか」というアイデアが多分参加された皆さんにも、新しく思いつくのではないかと思います。

00:07:01

テーブル3：民間が保有する地域の間と地域活動をマッチングしよう！

(株) コジマさん・(株) アクロスソリューションさん

* 欠席のため代読：宮前区役所企画課 山田

- ・コジマさんからは、ミーティング2の時もおっしゃっていたんですけども、行政職員、事業者さん、企業が一緒になって、地域を盛り上げることをやっていくことが、これからの時代に必要なんだなということを改めて感じました、貴重な機会に感謝します。ということをお願いしております。
- ・アクロスソリューションさんからは、マルシェ2回目に実際動いていくという観点でということなんですけれども、良かった点として、地域住民と民間企業が直接今回やり取りすることになったということで、スムーズな意思伝達ができているのではないかとお願いしております。
- ・課題としては、マルシェで言えばなんですけれども、参加者の裾野を広げるためにはどうしても行政の力をお借りしないと厳しいというふうなお話も頂いていて、同じ事業者様だけではなくて新たな事業者様にもご利用いただきたいという話いただいています。
- ・この間コジマさんと話した時に、今回コジマルシェについても少し手芸品に出店者が偏っているなあ、という話もいただいたりして。
- ・ただ、行政だからできるのかってということではなくて、どちらかというコジマさんの話も、出店者・事業者さんの話も聞きながら、中立的な立場で調整ができる人が、しかも公共性を持って地域のためにという視点を持ってという意味では、行政だけでもできない、地域だけでもできない、正に間のところをアクロスさんとしてはすごく必要としているということなのかなと私は解釈しました。
- ・以上です

00:08:32

千葉：

- ・ありがとうございます
- ・まさに今後のSDCが担うのかもしれない、中間的なコーディネーターというところが、求められている像が見えてきたのかもしれないというふうに思います。